

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月3日

上場会社名 株式会社セキド 上場取引所 東
 コード番号 9878 URL <http://www.sekido.com/ir/index.php>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関戸 正実
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 弓削 英昭 TEL 03-6300-6335
 四半期報告書提出予定日 2023年8月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年3月21日～2023年6月20日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	1,863	19.2	47	13.9	8	△54.2	4	△69.0
2023年3月期第1四半期	1,562	—	42	—	18	—	13	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 12百万円 (17.0%) 2023年3月期第1四半期 10百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	2.02	1.67
2023年3月期第1四半期	6.52	5.13

(注) 2022年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	5,090	862	16.8
2023年3月期	4,945	870	17.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 857百万円 2023年3月期 864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—				
2024年3月期（予想）		0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年3月21日～2024年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,420	6.4	24	△64.7	1	△97.3	△8	—	△3.93
通期	7,220	2.6	110	0.5	60	31.4	42	—	20.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2023年3月22日開催の取締役会において、連結子会社であるMEDIHEAL JAPAN株式会社の解散とその事業を当社に譲り受けることを決議しているため、手続き完了後、2024年3月期中に非連結決算に移行する予定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	2,040,928株	2023年3月期	2,040,928株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,536株	2023年3月期	3,536株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	2,037,392株	2023年3月期1Q	2,035,427株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引くロシア・ウクライナ戦争の影響による物価高騰に加え、円安基調が続く中、企業業績や個人消費への影響が懸念される状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、主力事業の店舗運営事業と美容事業による新たな成長戦略に取り組んでおります。

店舗運営事業（ファッション事業）においては、顧客対策として、2000年の顧客管理システム導入から23年間蓄積した顧客購入データをAIの解析にかけ、再来店施策に活用する取り組みを開始しております。また高額商品の品揃えを充実させることで、前連結会計年度に増加したヘビーユーザー及び準ヘビーユーザー向けの商品展開に一層注力した他、引続き、アプリ会員獲得とプッシュ通知での新商品・季節商品・イベント・クーポン等、会員様にメリットのある情報伝達に努めております。

美容事業においては、商品戦略では「エイジレス」「ジェンダーレス」をコンセプトに組み込んだ新商品の展開を行います。第2四半期の発売に向け、年齢・性別関係なく推奨できるスキンケア商品の開発を進めており、ターゲット顧客の拡大を目指します。

流通戦略では有力ショップ限定のプロモーションや新製品の先行販売、専用什器・プロモーション什器導入による売場一等地のスペース確保など、大手パラエティストアでの販売強化、存在感UPに取り組んでおります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は1,863百万円（前年同四半期比19.2%増）、総額表示による売上高は2,108百万円（前年同四半期比14.2%増）となり、営業利益は47百万円（前年同四半期比13.9%増）となりました。しかしながら、円安の影響を大きく受けたことから為替差損28百万円を計上したことにより、経常利益は8百万円（前年同四半期比54.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4百万円（前年同四半期比69.0%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[ファッション事業]

ファッション事業においては、韓国コスメのセレクトショップ『&choa!』を1店舗出店し、輸入ブランド専門店『GINZA LoveLove』11店舗、『&choa!』12店舗の全23店舗体制で運営しております。『GINZA LoveLove』では、顧客対策として、AIを使った顧客データ解析による再来店施策に着手した他、アプリ会員への情報発信に努めるなど、売上高の確保に注力いたしましたが、コロナの分類変更が、行楽など他の消費行動に向かった影響もあり、売上高は820百万円（前年同四半期比9.5%減）、総額表示による売上高は1,065百万円（前年同四半期比10.5%減）、セグメント損失は21百万円（前年同四半期は6百万円のセグメント利益）となりました。

[美容事業]

美容事業においては、主力商品の売上が好調に推移したこと、大手パラエティストアへの販促を強化したこと、公式ECサイトでのセール企画が大きく貢献したことなどにより、売上高は952百万円（前年同四半期比50.7%増）となりました。しかしながら、円安による輸入原価への影響と為替差損の計上などにより、セグメント利益は98百万円（前年同四半期比5.0%増）に留まりました。

[賃貸部門]

賃貸部門においては、売上高は8百万円（前年同四半期比7.8%減）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。

[その他]

その他の部門では、売上高は81百万円（前年同四半期比76.8%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比537.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産は5,090百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円増加いたしました。これは主に、商品が143百万円、売掛金が153百万円増加しましたが、預け金が50百万円減少した他、配当金の支払い、納税などにより現金及び預金が106百万円減少したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、負債合計は4,227百万円となり、前連結会計年度末に比べ152百万円増加いたしました。これは主に、社債が20百万円、長・短借入金が合計で41百万円、納税などにより未払法人税等が14百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が224百万円増加したことなどによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、純資産合計は862百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは主に、その他有価証券評価差額金が8百万円増加しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益4百万円の計上と利益剰余金の配当20百万円により、利益剰余金が16百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は16.8%（前連結会計年度末は17.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年5月2日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	593,204	486,300
売掛金	845,453	999,344
商品	2,095,630	2,239,586
預け金	136,687	85,810
その他	177,265	168,878
貸倒引当金	△17,642	△18,368
流動資産合計	3,830,597	3,961,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	129,951	134,371
土地	429,273	429,273
その他 (純額)	70,572	77,645
有形固定資産合計	629,796	641,290
無形固定資産		
ソフトウェア	21,606	20,099
無形固定資産合計	21,606	20,099
投資その他の資産		
投資有価証券	95,369	104,929
差入保証金	323,485	319,848
繰延税金資産	28,504	26,423
その他	15,872	16,039
投資その他の資産合計	463,231	467,240
固定資産合計	1,114,634	1,128,629
資産合計	4,945,231	5,090,182

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	632,321	856,612
短期借入金	2,312,648	2,290,990
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	77,919	77,073
リース債務	4,616	4,810
未払金	303,340	282,301
未払法人税等	18,660	4,450
契約負債	12,360	13,518
その他	40,739	66,579
流動負債合計	3,442,606	3,636,334
固定負債		
社債	160,000	140,000
長期借入金	200,406	181,668
リース債務	6,931	9,976
役員退職慰労引当金	109,800	109,800
退職給付に係る負債	101,073	97,334
資産除去債務	3,288	3,288
長期預り保証金	29,980	29,980
長期末払金	20,579	18,838
固定負債合計	632,058	590,885
負債合計	4,074,664	4,227,220
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,990	59,990
資本剰余金	454,388	454,388
利益剰余金	337,443	321,181
自己株式	△5,026	△5,026
株主資本合計	846,795	830,533
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,997	24,925
退職給付に係る調整累計額	1,971	1,701
その他の包括利益累計額合計	17,968	26,626
新株予約権	5,802	5,802
純資産合計	870,566	862,962
負債純資産合計	4,945,231	5,090,182

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)
売上高	1,562,957	1,863,459
売上原価	1,084,701	1,200,291
売上総利益	478,255	663,167
販売費及び一般管理費	436,248	615,317
営業利益	42,007	47,849
営業外収益		
受取利息	62	77
受取配当金	473	502
その他	164	275
営業外収益合計	700	856
営業外費用		
支払利息	11,008	10,381
社債利息	—	206
新株予約権発行費	534	—
為替差損	11,403	28,911
その他	1,225	710
営業外費用合計	24,172	40,210
経常利益	18,536	8,495
税金等調整前四半期純利益	18,536	8,495
法人税、住民税及び事業税	5,798	2,934
法人税等調整額	△527	1,449
法人税等合計	5,271	4,383
四半期純利益	13,265	4,111
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,265	4,111

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年3月21日 至 2022年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月21日 至 2023年6月20日)
四半期純利益	13,265	4,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,574	8,927
退職給付に係る調整額	△776	△269
その他の包括利益合計	△2,351	8,657
四半期包括利益	10,914	12,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,914	12,769

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年3月21日 至2022年6月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	907,389	600,125	—	1,507,515	45,842	—	1,553,357
その他の収益	—	—	9,600	9,600	—	—	9,600
外部顧客への売上高	907,389	600,125	9,600	1,517,115	45,842	—	1,562,957
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	32,020	—	32,020	—	△32,020	—
計	907,389	632,145	9,600	1,549,135	45,842	△32,020	1,562,957
セグメント利益	6,821	93,341	8,412	108,575	2,046	△92,084	18,536

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益の調整額△92,084千円は、セグメント間取引消去△1,525千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△90,559千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に變更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間のファッション事業の売上高は293,784千円減少し、セグメント利益は260千円減少しております。また、美容事業の売上高は380千円減少し、セグメント利益は138千円減少しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自2023年3月21日 至2023年6月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計
	ファッション	美容	賃貸部門	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	820,904	952,641	—	1,773,546	81,062	—	1,854,609
その他の収益	—	—	8,850	8,850	—	—	8,850
外部顧客への売上高	820,904	952,641	8,850	1,782,396	81,062	—	1,863,459
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	820,904	952,641	8,850	1,782,396	81,062	—	1,863,459
セグメント利益又は損失 (△)	△21,759	98,011	7,657	83,908	13,034	△88,447	8,495

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外商部門等であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△88,447千円は、セグメント間取引消去4,189千円、報告セグメントに帰属しない全社費用△92,636千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益としております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。